

## 砂丘地畑における「たまねぎ直播栽培実証試験」取組結果について

J A全農にいがたでは、砂丘畑作地域でのたまねぎ導入推進に向け、移植栽培に比べ育苗コスト・労力が軽減できる「直播栽培」について、品種・播種適期の検証と、直播栽培に登録のある除草剤の薬害試験を実施しました。

単年度のみ結果となりますが、下記に概要をまとめました。

### 1. 実証方法

- (1) 実証圃場：新発田市藤塚浜 6 a 土壌条件：砂土
- (2) 品 種：早生種 スパート 中生種 アトン、ターボ 中晩生種 ネオアース
- (3) 播 種 日：令和4年9月5日(A区)、15日(B区)、26日(C区)
- (4) 栽植密度：図1のとおり
- (5) 除草剤体系

- ア. グラメックス水和剤（播種直後）
- イ. ゴーゴーサン乳剤（播種後21～28日後）
- ウ. クロロIPC乳剤（11/25）
- エ. クロロIPC乳剤（3/7）
- オ. ボクサー乳剤（A区・B区のみ10/21、4/3）

※アとオは薬害試験

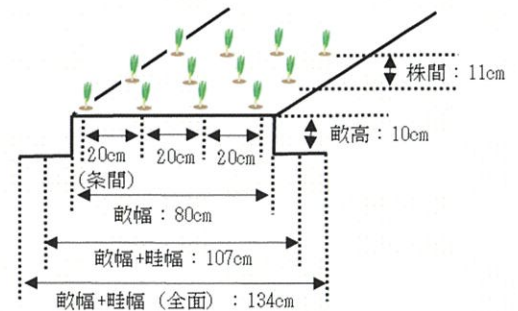


図1 畝概要図

表1 直播たまねぎ実証栽培圃場調査 -苗立率-

単位：%

品種	調査区		
	A区	B区	C区
スパート（早生）	8	99	93
アトン（中生）	43	88	69
ターボ（中生）	66	99	53
ネオアース（中晩生）	80	99	76

### 2. 実証結果

#### (1) 苗立率

苗立率は、B区（9/15播種）がいずれの品種も80%を超えました（表1）。C区は気温の低下により地温の下がり、苗立率に影響したと思われます。

#### (2) 越冬率

B区が最も高く、アトン、ターボの越冬率は100%となりました。A区の越冬率も高く、いずれの品種も80%以上の越冬率を確保しました。

C区は株の生育が最も遅く、積雪により株の消失が拡大し、特にネオアースは顕著でした（表2）。

表2 直播たまねぎ実証栽培圃場調査（越冬率）

単位：%

品種	調査区		
	※A区	B区	C区
スパート（早生）	89	95	84
アトン（中生）	88	100	80
ターボ（中生）	93	100	59
ネオアース（中晩生）	99	98	19

※掲載内容の無断使用・転載を禁じます。

### (3) 収量

収量は、B区ネオアースが7.1 t /10a と最も高い収量を確保しましたが、調査区の全体評価としては、アトンのL玉(直径8.0 cm以上)以上比率が全区を通じ高く、安定した収量となりました。(表3)。

表3 収量調査結果

	A区		B区		C区	
	収量	L玉以上比率	収量	L玉以上比率	収量	L玉以上比率
	(t/10a)	(%)	(t/10a)	(%)	(t/10a)	(%)
スパート	1.4	47	2.5	45	1.4	33
アトン	4.4	48	5.2	85	3.5	91
ターボ	2.8	47	6.6	83	2.5	90
ネオアース	2.9	57	7.1	89	1.1	55

### (4) 除草剤の薬害

グラメックス水和剤による薬害被害は確認されませんでした。さらに、高温時を想定したボクサー乳剤の実証試験では、散布後7日程度で一部の本葉が萎縮する軽微な薬害が発生しましたが、症状は徐々に回復し、収量の減少につながる被害はありませんでした。

## 3. 結果の総括

### (1) 播種時期

たまねぎ栽培の生育適温は15~25℃とされ、今回の実証試験でも高温時や低温時の播種では、生育に差が生じました。

### (2) 除草体系

直播たまねぎ栽培の普及拡大には、除草対策が不可欠です。令和4年度の実証試験では、収量の減少につながる薬害は確認されませんでした。

## 4. 令和5年度の実証試験(計画)について

気象条件等の影響要素もあるため、令和5年度もほぼ同じ内容で継続して実証をおこない、2ヵ年の実証結果により砂丘地でのたまねぎ直播栽培マニュアル(仮称)を策定する予定です。

(担い手・営農支援部 担い手・営農支援課)